

さらなる活性化の起爆剤に

宇陀市宿泊事業者誘致事業

宿泊事業予定者が決定

問 産業企画課 (02・5874/1P 88・9075)



締結式では、市長および休暇村協会 中島都志明理事長が出席し、協定書に署名の後、固い握手で、今後互いをパートナーとして、相互に協力して連携し本事業を進めていくことを確認しました。

5月16日、本市と一般財団法人休暇村協会の間で「宇陀市宿泊事業者誘致事業の推進に関する協定書」締結式を行いました。

この事業は、市が整備する事業用地内に、奈良県東部地域の拠点となる宿泊施設を誘致し、老朽化の進む保養センター美榛苑に代わる市の宿泊環境を整えるものです。

今年の1月から募集を行い、3月14日の事業者選定委員会での選定の結果、同者を宿泊事業予定者として決定し、この度の締結式に至りました。

県東部地域への誘客の鍵に

本事業により、周辺地域の観光拠点となる民設民営の宿泊施設の誕生、また市の遊休地を活用した防災機能を持った公園整備等による周辺環境の向上など、宇陀市の活性化が大きく期待できます。

事業コンセプト

(休暇村協会による事業提案資料から)

■宇陀にときめく！

大和高原に位置するこの地の魅力を余すことなく伝え、宇陀の自然・食・歴史・文化にときめく体験をプロデュースし、提案します。

■人と人を繋ぐ！

様々な目的でお越しになられる方々に快適にお過ごしいただける“安らぎの場”を用意すると共に、全国および海外に向けて積極的に地域の情報を発信します。

■地域と共に歩む！

地域のみなさんからのご理解ご協力をいただき、地域を盛り上げ、各種法令並び条例を遵守し、健全な経営を永く継続します。

美榛温泉をはじめ宇陀市の地域資源を活用した、大和高原の温泉リゾートの“ならでは”感を演出します。

締結式のあいさつでは、市長から「当事業を市民、市、事業者にとって夢のある事業にしたい。また当事業を起爆剤に中山間地域のまちづくりを行ってきたい」。同協会中島理事長からは、「全国から宇陀に来てもらい、宇陀の活性化に貢献していきたい。また休暇村を誘致してよかったと思ってもらえるようにしたい」と今後への抱負が述べられました。

■宿泊事業予定者 概要

【住所】東京都台東区東上野
5丁目1番5号

【名称】一般財団法人 休暇村協会

【沿革】

○昭和36年12月「財団法人国民休暇村協会」創立

○同37年7月 近江八幡国民休暇村（現休暇村近江八幡）開設

○同39年10月 大阪案内所（現大阪センター）開設

○平成3年 国内旅行業登録

○同24年4月 新公益法人法に基づき一般財団法人へ移行

○同24年7月 休暇村奥武蔵開設 ※全国37施設目

小学校3・4年生が、

社会科副読本

わたしたちの宇陀市で

勉強中！

市教育委員会では、この度、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの宇陀市 改訂版」を発刊しました。

この副読本は3年ごとに市内全小学校の担当教員による編集委員会が編集を行うもので、今回で第5版となります。

今回の改訂では、新しく室生小学校が開校したことに伴い、学校の校区地図などが新しくなりました。また、各資料、統計を最新のものに改めるとともに、写真や図を多用すること子どもにとって見やすく、教師にとって授業しやすいという視点で細部を見直しました。

この本では、宇陀市の地勢、歴史、産業、環境などを全画面で紹介。子どもたちが、この本で楽しく学び、授業で宇陀市のことを誇らしく発表してくれることを期待しています。

問 教育総務課

(☎82・3973 / IP ☎88・9259)



▲市内でのものづくりもカラーで紹介



▲表紙には宇陀市10周年を記念して行われた「うだフォトコンテスト」の写真を用い、子どもに親しみやすいイメージに改めました

佛隆寺彼岸花再生プロジェクト

球根植栽ボランティアを募集



佛隆寺は、報道ステーションの夜桜中継が行われたように県内最古級の千年桜が有名ですが、秋には、彼岸花が幾重にも重なり石段の両側を真っ赤に染める景色でも有名です。

しかし以前から、イノシシやシカの獣害により球根を掘り起こされ、秋の景色は壊滅状態となっています。

このプロジェクトでは、3年前から球根の植栽活動を行い、景色の復元を目指しています。この活動にみなさんのご参加をお願いします。

【日時】6月24日(土) 午前9時～正午(荒天時中止)

【場所】佛隆寺(榛原赤壇)

【持ち物】移植ごて、軍手、昼食

【内容】県内外から寄贈を受けた彼岸花の球根を植栽し、名所としての復活を目指す。

【申し込み】不要

問 佛隆寺彼岸花再生プロジェクト事務局(商工観光課内)
(☎82・2457 / IP ☎88・9081)

受講生募集!!

文化財ボランティア養成講座を開講

この講座は、市内にある多くの文化財についての専門的な知識・技術を修得し、文化財の調査・研究・説明などに従事していただくボランティアの養成を目的としています。市ではこの講座を3か年にわたって開講します。

【今年度の日程】7月～平成30年1月の第1水曜日(年間7回開催)

【場所】中央公民館(大宇陀地域事務所隣) 他

【講座内容】文化財の基礎知識講座と現地研修

【定員】20名(先着順)

【対象】文化財とボランティアに興味のある方で、3か年にわたって毎回の受講が可能な方

【参加費】無料(ただし、現地研修時の入場料などは実費)

【申し込み】6月5日(月)～23日(金)の期間中に、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、はがき・メール・☎などでお申し込みください。

問 文化財課

〒633-0292

榛原下井足17番地の3

(☎82・3976 / IP ☎88・9365)

／FAX ☎82・3600)

メール／bunkazai@city.uda.lg.jp

特集

市政トピックス

うだぢから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

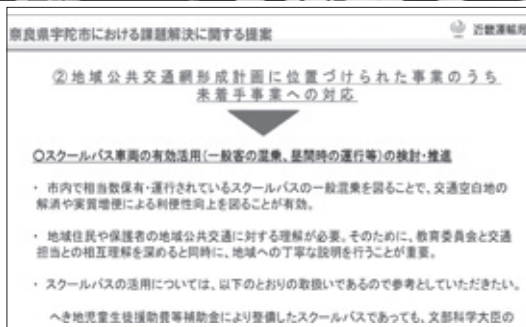
うだちゃん

地域公共交通の維持・改善に向けて！

企画課 ☎82・1362 / IP ☎88・9074

4月26日、本市と近畿運輸局の間で「地域連携サポートプラン」提案書交付式を行いました。

この取り組みは昨年度から始まったもので、市と近畿運輸局、奈良運輸支局が連携し、宇陀市における地域公共交通の現状と課題について、維持・改善に向けた検討や議論を行い、その成果の一つとして提案書を交付するものです。



宇陀市 地域連携サポートプラン

今後、近畿運輸局をはじめ、関係団体と連携すること、提案内容の実現を図り、地域公共交通の維持・活性化を推進していきます。

みなさんも公共交通を積極的に利用していただきますよう、ご協力をお願いします。

【提案書の主な内容】

○運行費補助金が急激に増大する路線バスの運行効率化（奥宇陀線の見直し）

○地域公共交通網形成計画に位置づけられた事業のうち未着手事業への対応

現在、近畿7市でサポートプラン協定が結ばれています。具体的な提案書を受けたのは、淡路市・橋本市に続いて宇陀市は第3号となります。

この取り組みで、県内では初めて宇陀市が協定を締結し、これまで意見交換・ワークショップなどを重ね、議題解決に向けて取り組んできました。

市長日記

新たな宇陀市づくりに向けて



▼5月の新緑素晴らしい季節の中で開催された「鳥見山つつじ祭り」に参加し、私自身が改めて高原の文化都市 四季の風薫る宇陀市を感じたところです。

▼各地域の連合自治会の総会に出席させていただきました。総会で、役員の方々の交代などあり、新たな気持ちで自治会の運営をされていくのだと感じました。その中で、今年度の宇陀市主要施策について話させていただきました。（この施策集は、広報うだ5月号に折り込みさせていただきます。）市では、各種施策を6つのプロジェクトに取りまとめ実施しておりますが、その中でも特記すべき宇陀市の活性化に向けた重要な政策について話させていただきます。

過去、市民皆様のご理解とご支援、職員の協力などにより、行財政改革がなされ、危機的な状況であった財政状況もここ数年は安定しており、まちづくり、賑わいづくりに投資できる環境が整いつつあると感じています。

▼主要施策事業の一例を紹介すると、5月16日に「一般財団法人 休暇村協会」との間で宿泊



地域の催しでは、みなさんから元気と活気をいただいています

事業者誘致事業協定書を締結し、事業が具体的に進みだしました。また、奈良県、宇陀市、ロート製菓による「大和高原の魅力ある仕事づくり連携協定」に基づき起業家を募集、現在3名の方を採用しています。彼らは、市内で住んで事業を起こす「宇陀市仕事づくり推進隊員」として委嘱を受け、活動を開始しています。

今後も、皆さんにはこのような主要施策の進捗状況を「うだチャン11」などを通じて発信していく予定をしております。

▼皆さん一人ひとりが、わが街、わが地域、わが家をどう考えるかに懸かっています。宇陀市で教育を受け、育まれ、社会で活躍できるまち。そして、宇陀市で住み続けたい、住んでみたいと思え安心して、心豊かに暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと改めて思います。

▼「大和は国のまほろば たたなづく青垣山籠れる 大和しうるはし」。目前には農繁期を迎えた美しい景色が広がります。紀記万葉の歴史に培われ、育まれた、宇陀の里を巡りましょう。

市内4地区を取り組みの足がかりに

「まちづくりに関する基本協定」を締結

問 まちづくり推進課 (☎82・5624 / IP ☎88・9092)

本市では、未来に向けた宇陀市づくりに向け、平成27年12月に『宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定し、『奈良県と宇陀市のまちづくり包括協定』を締結しました。

これらにより、これまで市では、「小さな拠点づくり」を積極的に進め、その足がかりとして、市内4地区において、地元住民や関連事業者の方々などとの議論を重ね、この度「まちづくり基本構想」を策定しました。この構想は、対象地区における現状と課題から導き出されたまちづくりのコンセプトや将来像、基本となる取り組みをまとめたもので、これに基づき4月7日、市と県との間で『まちづくりに関する基本協定』を締結しました。

今後は、より具体的な施策展開に向けて取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。



▲室生地区での住民ワークショップの様子

宇陀市 まちづくり基本協定



■宇陀松山周辺地区

【コンセプト】 観たい、住みたい、まっちゃま。

～歴史と文化を活かし、暮らし続けられる生活環境と次世代への活力を創り出すまちづくり～

【施策方針】 伝統的雰囲気とにぎわいが共存した町並みづくり、史跡宇陀松山城跡歴史拠点の形成、交流拠点機能の充実化、交通ネットワークの構築、豊富な観光資源を活かした、活力あふれるまちづくり

■うたの古市場周辺地区

【コンセプト】 悠久の郷“うたの”再発見!!

～誇りある地域資源を見つけ、みんなで磨き賑わいづくり～

【施策方針】 3大交流地点の創出、交流地点を結ぶ周遊ネットワークの創出、毛皮革など地場産業の振興、生活の魅力向上と雇用創出による定住化の促進

■近鉄榛原駅周辺地区

【コンセプト】 大和高原への玄関口、宇陀はいばら。

～奈良県東部の玄関口として、にぎわいと交流を生み出すまちづくり～

【施策方針】 交通結節機能の向上と観光情報の発信などによる宇陀市の顔づくり、既存施設の利用増進と保養・宿泊施設の立地促進による健康増進・防災拠点づくり、低・未利用地の活用等による市民の生活利便性の向上、長く暮らせる住まいづくりの支援と地域コミュニティの活性化、広域および地域内の交通体系の確保

■室生寺門前および室生口大野駅周辺地区

【コンセプト】 女人高野の郷 室生寺

おもてなしによる観光と交流のまちづくり

【施策方針】 観光ポテンシャルを活かした魅力向上、公共交通を中心とした移動環境の向上、観光との相乗効果による地域の活力向上

飼 育している方からお話を聞くと、「まずは幼虫のエサになる榎の木を育てること。よければ苗を提供するよ」とのことでした。もともと、成蝶の美しい姿を写真に撮ることが目的だったので、私は喜んで飛びつきました。

とはいえ、飼育の場となる榎の育成から、害虫や野鳥対策、また成虫を自然へ還すことや来年に向けた卵の確保など、なかなか苦労もありました。幸いなことにオオムラサキは、国内全域で生息し

も ともと写真撮影が趣味で、いい写真を撮りたいと明日香村の里山活動団体で自然や風土を学んでいる時、その活動の一環としてオオムラサキの飼育を知ったのがきっかけでした。



キラリ
うだ人
Kirari UDA-Bito

里山豊かで蝶が舞う

(国蝶舞う豊かな里を写したい)

オオムラサキ飼育 吉本準司さん (榛原山路)

ており、また榎の木も近辺で自生していることから、宇陀の環境にも十分適応したようです。

こ の活動を始めて丸5年。これまで放蝶した成果も少しづつ出ているように思います。時折、「飼育方法を教えてください」という声がかかったり、子どもたちに教える機会もいただくようになり、最近は宇陀の里山で自生させたという想いも強くなってきました。

夢 はこの地域でオオムラサキが乱舞すること。子どもたちにとっても素晴らしい原風景になると思います。蝶の羽化時期は6月末から7月頃。ひよつとすれば、市内の里山でも美しい国蝶を観察できるかもしれません。



今年はどんな姿を見せてくれるのか楽しみです。

キラリ **うだ人**